

社業の発展を通じ社会に貢献する

# 2021年3月期 決算説明資料

変革と挑戦 強く価値ある会社へ

西華産業株式会社 (東証1部 証券コード8061)

# CONTENTS

01

2021年3月期  
連結決算概要

02

2022年3月期  
連結業績予想

03

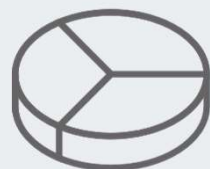
トピックス

04

株主還元

05

参考資料



01

# 2021年3月期 連結決算概要



# 2021年3月期 連結決算概要

	2021年3月期 期首予想 (5月)	2021年3月期 実績	増減額
売上高	135,000 百万円	136,273 百万円	+ 1,273 百万円
営業利益	2,400 百万円	2,581 百万円	+ 181 百万円
経常利益	2,700 百万円	2,906 百万円	+ 206 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,650 百万円	2,721 百万円	+ 1,071 百万円

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額
受注高	121,164 百万円	141,840 百万円	+ 20,676 百万円
受注残高	140,597 百万円	146,163 百万円	+ 5,566 百万円



## 貸借対照表、キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2020年3月末	2021年3月末	増減額
資産合計	92,668	97,458	+ 4,789
負債合計	66,757	67,568	+ 811
純資産合計	25,911	29,889	+ 3,978
負債及び純資産合計	92,668	97,458	+ 4,789
自己資本比率	27.2%	29.8%	+ 2.6pt
自己資本利益率 (ROE)	△4.7%	10.0%	+ 14.7pt

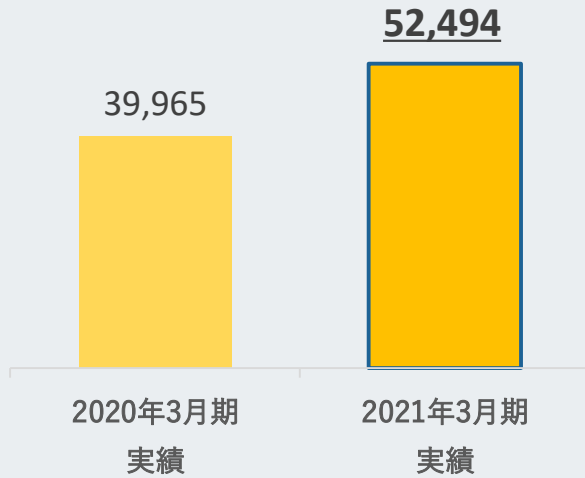
(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	3,400	4,137	+ 737
投資活動によるキャッシュフロー	△299	△1,566	△1,267
財務活動によるキャッシュフロー	△1,211	△1,903	△692
現金及び現金同等物の期末残高	13,346	14,035	+ 689



# セグメント別事業概要 (売上高)

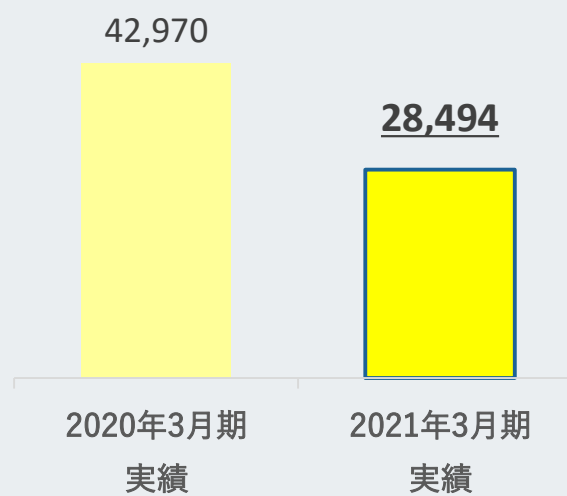
## 電力事業

(百万円)



## 化学・エネルギー事業

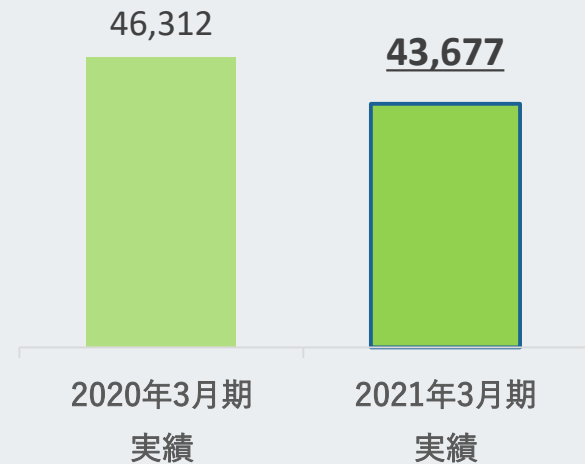
(百万円)



- ◆ 電力事業
  - ・ 堅調な設備投資により売上が増加
- ◆ 化学・エネルギー事業
  - ・ 化学、製鉄など一般産業向け発電設備の投資の先送り
- ◆ 産業機械事業
  - ・ 中国向け輸出商談が減少したものの、プラント、食品、繊維向け機械設備の売上が増加

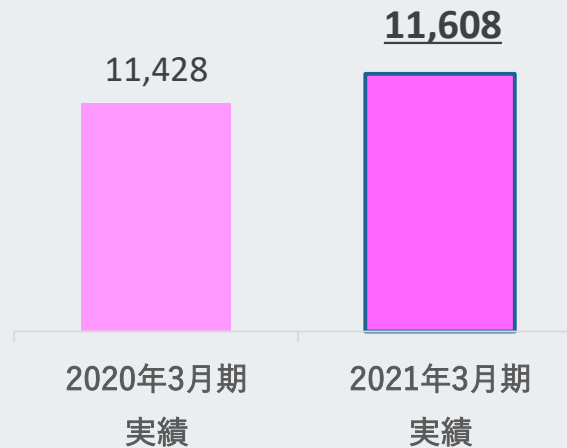
## 産業機械事業

(百万円)



## グローバル事業

(百万円)



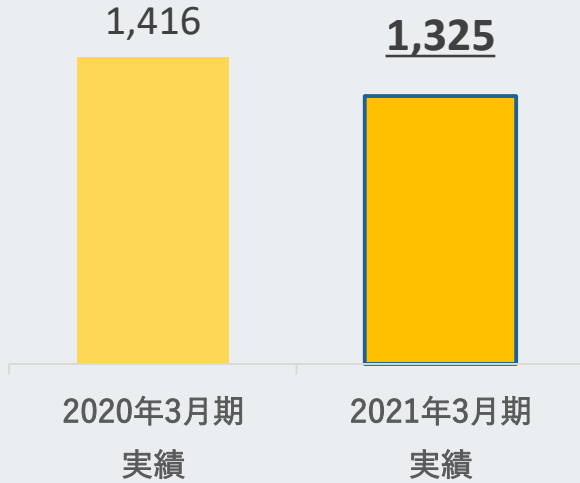
- ◆ グローバル事業
  - ・ Tsurumi (Europe) GmbH等の欧米および東南アジア子会社の売上が堅調に推移



# セグメント別事業概要 (セグメント利益)

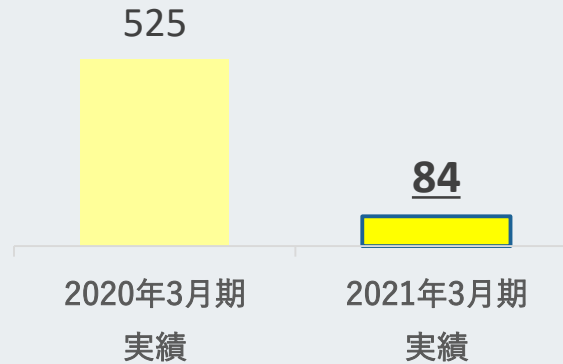
## 電力事業

(百万円)



## 化学・エネルギー事業

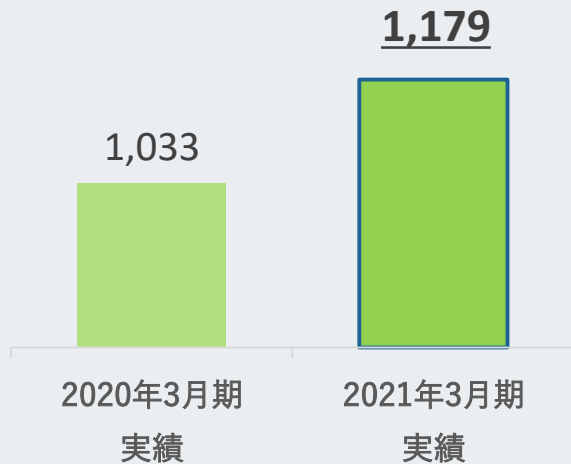
(百万円)



- ◆ 電力事業
  - ・ 前年並みに推移
- ◆ 化学・エネルギー事業
  - ・ 売上の減少、一部取引における追加費用の負担など

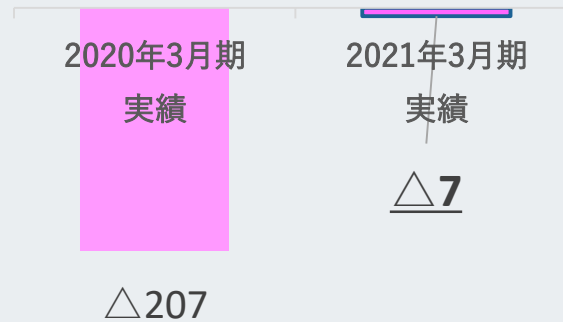
## 産業機械事業

(百万円)



## グローバル事業

(百万円)



- ◆ 産業機械事業
  - ・ 西華デジタルイメージの業績改善
- ◆ グローバル事業
  - ・ 欧米子会社の業績が堅調に推移、タイのSeika YKC Circuitなど一部海外子会社の業績不振



02

# 2022年3月期 連結業績予想





# 「収益認識に関する会計基準」等適用について

## 当社の取引形態

### 一般取引

- ▶ 製品の売買契約を客先・仕入先の双方と締結する取引
- ▶ 客先との契約責任を一義的に負うのは当社



### 代理人取引

- ▶ 当社名義で(代理人として)客先と契約を締結・製品受渡・代金回収
- ▶ 仕入先(委託者)からの手数料が当社の収益となる



代理人取引に係る収益については、

- ▶ 客先から受け取る対価の総額を収益として認識(総額計上)しておりましたが、特定仕入先との取引については手数料のみを収益として認識(純額計上)する方法へ変更
- ▶ 従来基準で「売上高」として計上していたものは、今後「取扱高」として開示
- ▶ 損益についての影響はございません。



## 2022年3月期 連結業績予想

	2021年3月期 実績	2022年3月期 通期予想	増減率 (前期比)
取扱高	136,273 百万円	130,000 百万円	△4.6 %
売上高 (注)	— 百万円	88,500 百万円	—
営業利益	2,581 百万円	2,850 百万円	+10.4 %
経常利益	2,906 百万円	3,100 百万円	+6.6 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,721 百万円	1,950 百万円	△28.4 %

(※) 連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、連結業績予想における売上高は当該会計基準に基づいた予想となっております。

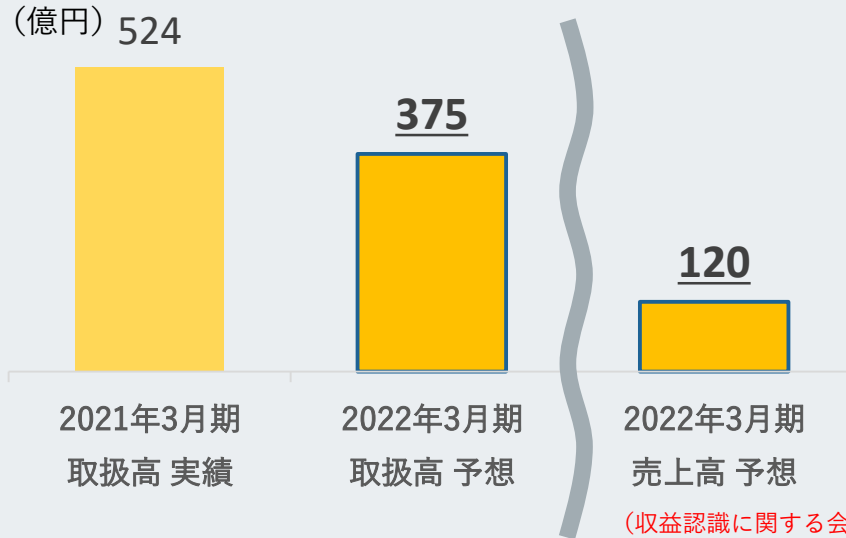
なお、当該会計基準を適用しない場合における従来の売上高は「取扱高」として開示いたします。



# 2022年3月期 セグメント別連結業績予想（取扱高・売上高）

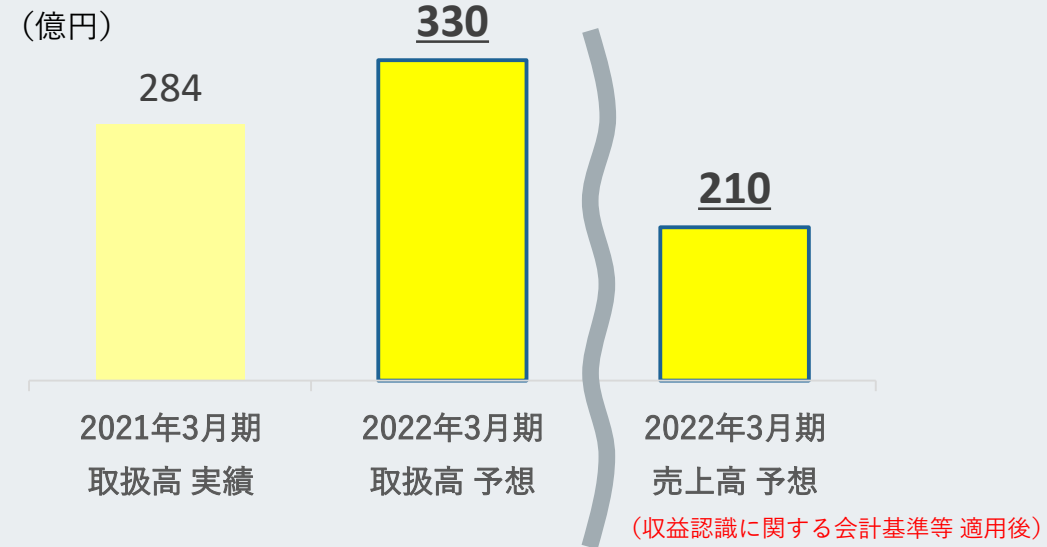
## 電力事業

- ・原子力発電所向け防災およびセキュリティ関連設備の売上見込み
- ・火力発電関連設備投資の減少見込み



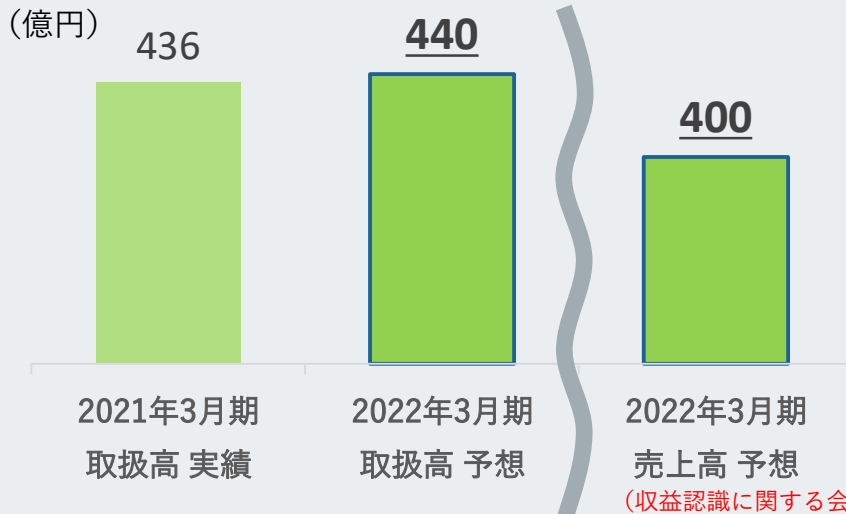
## 化学・エネルギー事業

- ・単体：前年並みに推移
- ・セイカダイヤエンジンの売上寄与



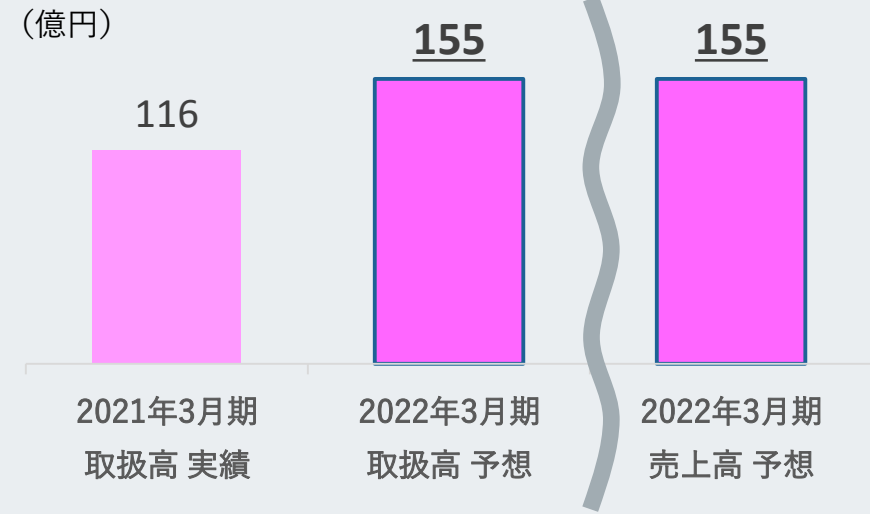
## 産業機械事業

- ・単体および子会社：前年並みに推移



## グローバル事業

- ・欧州および中国子会社の売上増見込み

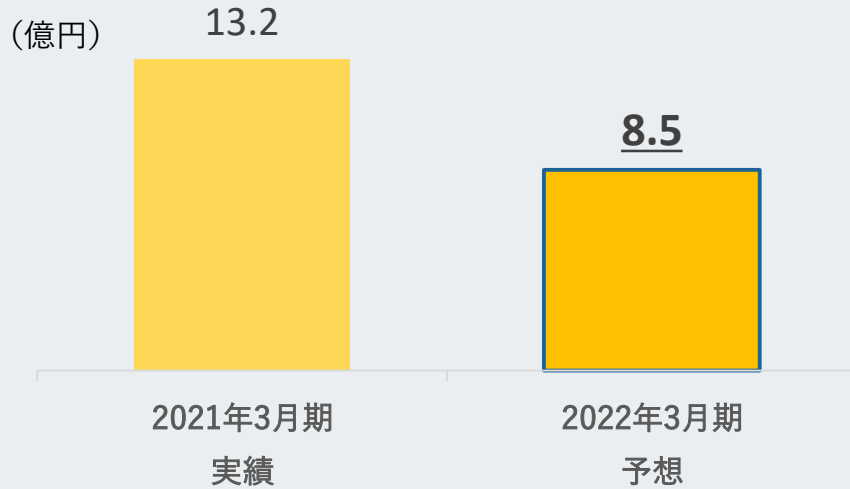




# 2022年3月期 セグメント別連結業績予想 (セグメント利益)

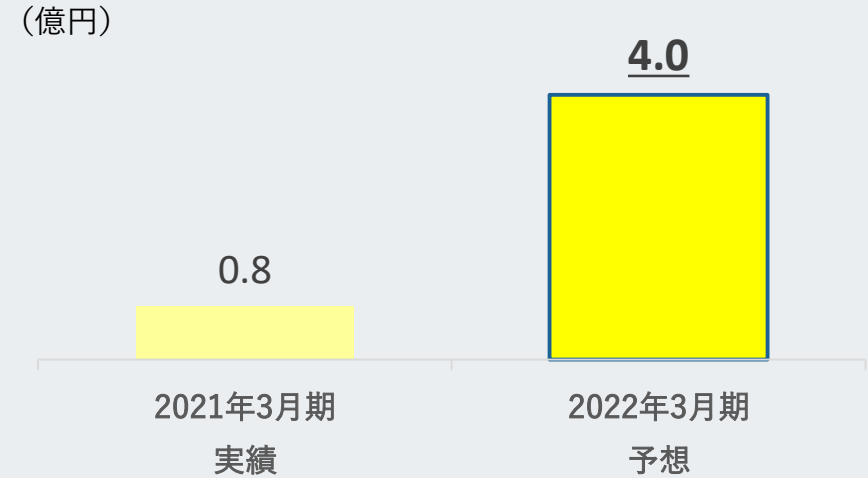
## 電力事業

- ・設備投資の抑制見込み
- ・価格競争の激化の影響見込み



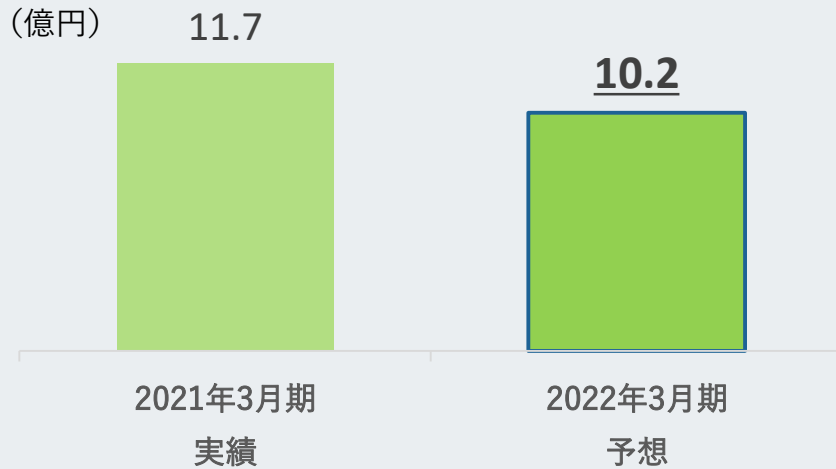
## 化学・エネルギー事業

- ・セイカダイヤエンジンの収益寄与
- ・敷島機器の「のれん償却額」減少



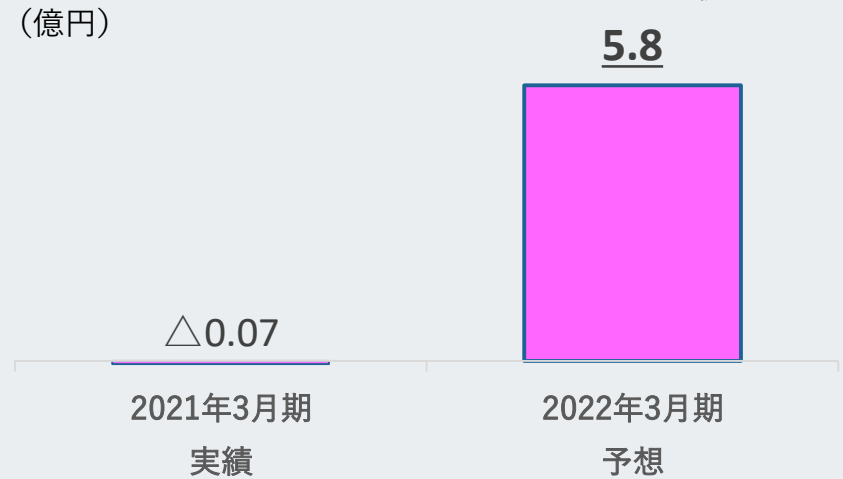
## 産業機械事業

- ・前年並みの見込み
- ・設備投資回復基調なるも売上は来期以降



## グローバル事業

- ・欧米、東南アジア子会社：前年並みに推移
- ・タイSeika YKC Circuitの事業撤退  
→グローバル事業の業績は黒字化





03

トピックス



# トピックス① 中期経営計画 Re-SEIKA 2023 初年度進捗状況

## Re-SEIKA 2023 (98期~100期)

### 変革と挑戦 強く価値ある会社へ



## Re-SEIKA 2023 基本方針

本中期経営計画 Re-SEIKA 2023は

- ・ 今までの考え方や行動を変え（改革）
- ・ あらゆる困難に何度でも挑戦しながら（再挑戦）
- ・ 持続的な成長サイクルを構築し（回復）

更なる企業価値の向上を実現する新たなステージ（再出発）とする。

改革  
Re-  
formation

再挑戦  
Re-  
challenge

回復  
Re-  
gain

再出発  
Re-  
start



# トピックス① 中期経営計画 Re-SEIKA 2023 初年度進捗状況

## ●グループ収益の拡大

- 船用エンジン販売・サービス事業を三菱重工エンジン&ターボチャージャより買収セイカダイヤエンジンを設立 ⇒ 敷島機器と共に同事業を全国展開

## ●収益基盤の強化

- 事業ポートフォリオの最適化を推進 ⇒ タイのプリント基板事業から撤退

## ●新たな収益源の開拓

- 将来の収益に寄与する事業と位置付け、再生可能エネルギー、ライフサイエンスおよびモビリティ分野をテーマに定め、プロジェクトを推進  
⇒ 再生可能エネルギー分野において成果

## ●経営基盤の強化

- 財務基盤の安定化
- 人財活用および働き方改革を推進
- コロナを契機にリモートワーク環境の拡充など社内インフラ整備を実施



# トピックス① 中期経営計画 Re-SEIKA 2023 初年度進捗状況

## 経営数値目標(連結)

	2021年3月期 中計初年度 (実績)	2022年3月期 中計2年目 (予想)	2023年3月期 中計最終年度 (目標)
営業利益	25.8億円	28.5億円	37億円
親会社株主に 帰属する 当期純利益	(注) 27.2億円	19.5億円	25億円

(注) タイ・プリント基板製造販売の事業撤退や株式譲渡により、2021年3月期は法人税等の税金費用減少(当該期特有)の増益要因がありました。





## トピックス② 今後のエネルギー事業の取り組み

脱炭素社会の実現に向けて、当社の安定収益基盤であるエネルギー事業（電力および化学・エネルギー事業）を、**成長収益事業**へと成長させ、今後もブラックアウトのない社会を維持していくという使命を全ういたします。

### ▶ 最適運転、高効率化の推進

- ・ I o T や A I を駆使したエネルギークラウドの活用推進
- ・ アンモニア・水素混焼発電への改造提案

### ▶ 再生可能エネルギーへの取組み強化

- ・ 小型水力発電、バイオマス発電等への取組み強化
- ・ バイオマス発電向け燃料等、脱炭素型商材の拡充

### ▶ 水素社会への挑戦

- ・ 水素専焼発電の実現に向け、「水素バリューチェーン協議会」に加盟

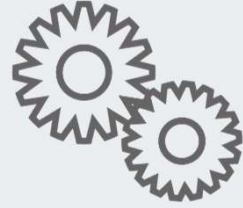
安定収益  
事業

最適運転  
高効率化の推進

再生可能  
エネルギー  
への取組み強化

水素社会への  
挑戦

成長収益事業へ



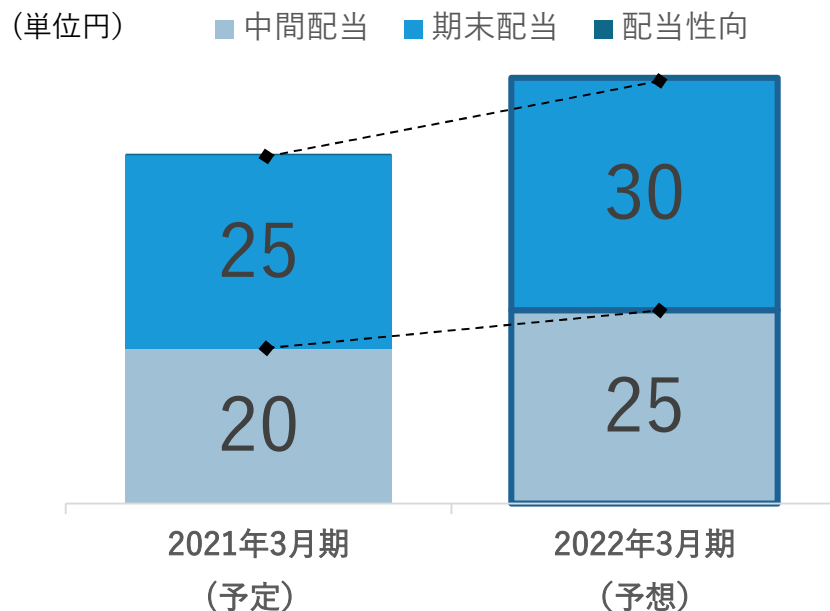
04

# 株主還元

## 配当方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、安定的な配当をすることを基本方針としております。  
 営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図るとともに、新しい事業の開発などの資金需要に柔軟に対応しながら、連結配当性向 35%を目途にいたします。

## 配当金（予想）



## 自己株式の取得

- 取得期間  
2021年4月1日～6月30日
- 取得し得る株式総数  
400,000 株
- 株式の取得価格の総額  
7億円



05

參考資料


2021年3月期

# 参考資料

1. 会社概要
2. 西華産業の歩み
3. 国内ネットワーク
4. 海外ネットワーク
5. 各事業の紹介
6. 業績の推移
7. 決算概要の推移
8. 経営指標の推移
9. 中期経営計画 Re-SEIKA 2023
10. E S G の取り組み



# 1. 会社概要

社名	西華産業株式会社（英名：SEIKA CORPORATION）		
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号		
設立	1947（昭和22）年10月1日		
代表者	代表取締役社長 櫻井 昭彦		
資本金	67億28百万円		
従業員数	969名（連結）318名（単体） 2021年3月末現在		
主な事業内容	各種プラント、機械装置・機器類、環境保全設備、 電子情報システム機器類の販売および輸出入		
事業所	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか 海外：台北支店、ソウル支店、シンガポール支店ほか	全19拠点 全4拠点	
関係会社拠点	国内：11社 国内拠点：77拠点	海外：16社 海外拠点：26拠点	

本社：丸の内 新東京ビル



## 2. 西華産業のあゆみ①

1947.10 旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社関係者が門司市（現北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立

1948～1951 日本各地に事務所設立（長崎、福岡、大阪、広島、東京、高松）

1961.10 株式を東京証券取引所第一部に上場

1974.01 ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbH を設立

1983.05 台湾（台北）に台北事務所を開設

1983.11 ドイツに（株）鶴見製作所との合併会社 Tsurumi(Europe)GmbHを設立

1994.04 アメリカ（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY INC.を設立

2000.07 韓国（ソウル）にソウル支店を開設

2001.08 登記上の本店を北九州市小倉北区から東京都千代田区へ移転

2004.01 中国（上海）に現地法人西擘貿易（上海）有限公司を設立

2005.04 日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化



## 2. 西華産業のあゆみ②

2010.02 株式会社竹本を子会社化



2012.01 シンガポール支店を開設



2012.04 西華デジタルイメージ株式会社を設立



2012.12 タイ（バンコク）に現地法人Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立



2015.05 名南共同エネルギー株式会社を設立



2016.03 敷島機器株式会社を子会社化



2019.01 ベトナム（ホーチミン）に現地法人SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITEDを設立



2019.12 敦賀事務所を開設



2020.10 セイカダイヤエンジン株式会社を設立





### 3. 国内ネットワーク

#### ●西華産業

東京（本社）、大阪、札幌、室蘭、横浜、名古屋、四国、岡山、敦賀、福山、広島、東広島、徳山、山口、福岡、北九州、大分、延岡、長崎

#### ●子会社・関連会社

##### 日本ダイヤバルブ

東京（本社）、大阪、名古屋、岡山、北九州

竹本 神戸（本社）、高砂、三原

西華デジタルイメージ 東京

##### 敷島機器

北海道札幌本社 ほか北海道10拠点

##### セイカダイヤエンジン

東京本社

東北、関東、中部、近畿、九州地区  
全国25拠点

東西実業 東京

名南共同エネルギー 知多

青和ポリマー つくば

##### エステック

東京（本社）、大阪、つくば

##### テンフィートライト

東京（本社）、大阪、高松、福岡

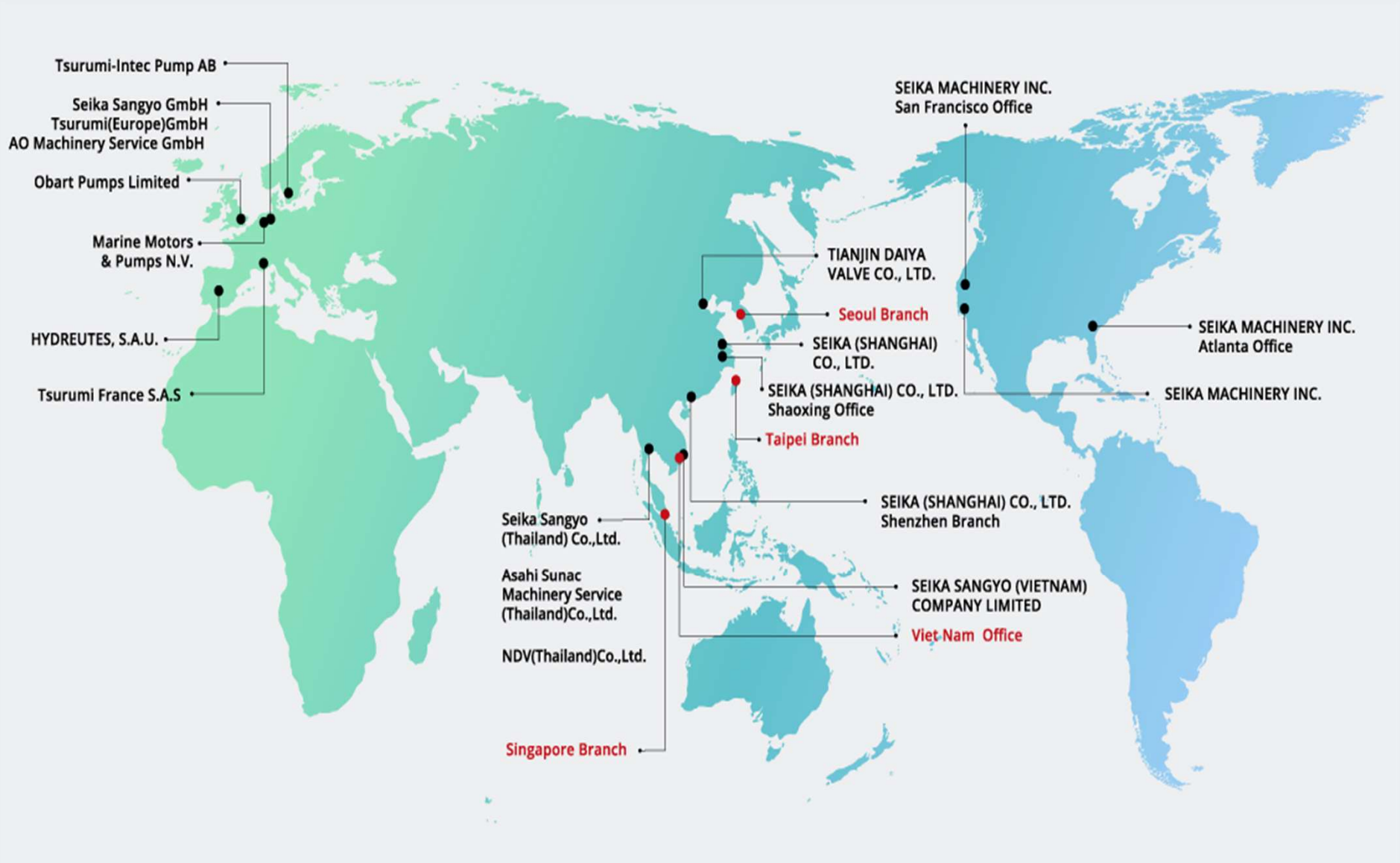
##### 日本エゼクターエンジニアリング

大阪（本社）、和歌山





## 4. 海外ネットワーク





## 5. 各事業の紹介（電力事業）

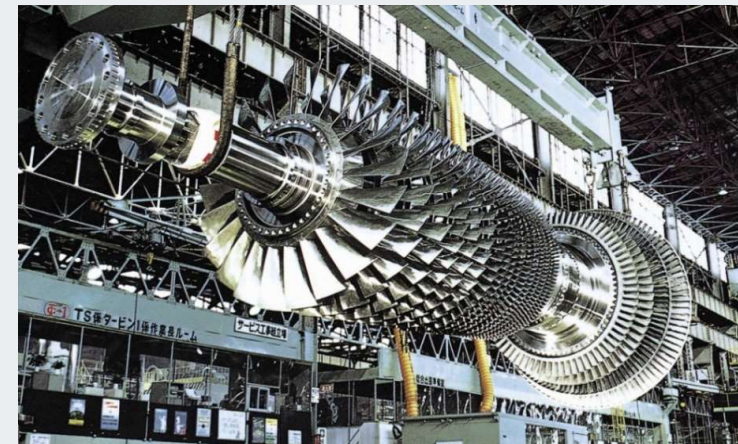
### エネルギーは産業界の 最も重要なテーマのひとつ

#### 【事業内容】

- ・ 事業用火力発電所向けボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売およびアフターサービス
- ・ 原子力発電所向け防災・セキュリティ関連設備および各種機器の販売
- ・ 再生可能エネルギー（小型水力、風力、バイオマス等）向け発電設備の販売およびアフターサービス



< 発電所 >



< 発電設備 >



## 5. 各事業の紹介（化学・エネルギー事業）

### エネルギーからプロセスに至る 幅広い取扱い商材

#### 【事業内容】

- ・ 石油精製、化学、製紙、製鉄等の事業会社  
向け発電設備、環境負荷低減商材の販売  
およびアフターサービス
- ・ バイオマス発電向け設備および燃料の販売
- ・ 船用エンジンの販売およびメンテナンス  
（セイカダイヤエンジン、敷島機器）



<バイオマス発電設備向燃料>



<化学プラント>



<環境保全設備>



## 5. 各事業の紹介（産業機械事業）

### 豊かで快適な生活環境を支える 高付加価値製品

#### 【事業内容】

- EV関連、新素材、繊維、フィルム、飲料などの産業分野向け製造設備の販売
- プラント・エンジニアリング会社向け機械設備の販売
- 産業機械向け環境保全用計測装置の販売
- 各種産業用バルブの製造・販売（日本ダイヤバルブ）
- 最先端計測機器およびソフトウェアの販売（西華デジタルイメージ）



<リチウムイオン電池製造ライン等EV関連設備>



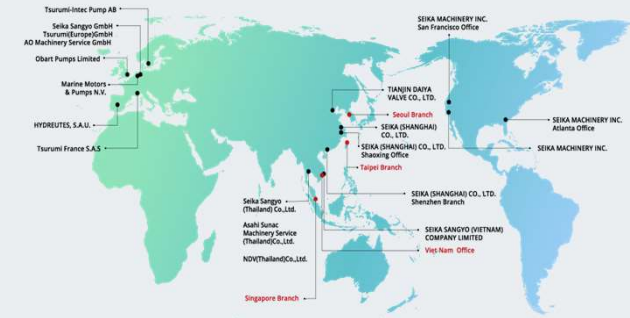
<フィルム関連設備>



<レーザー式ガス濃度計>



## 5. 各事業の紹介（グローバル事業）



### 【事業内容】 世界三極体制

- ・ 欧州**  
 自動車分野 : 車載関係の産業用ロボット販売  
 社会インフラ分野 : 公共工事用水中ポンプの販売およびレンタル事業の展開
- ・ 北米**  
 自動車分野 : 主に自動車部品業界向けにエレクトロニクス基板実装関連機器の販売
- ・ アジア**  
 産業機械分野 : 主に自動車、化学、繊維業界向けに機械設備の販売



Tsurumi (Europe) GmbHグループ  
水中ポンプ



Seika Machinery, Inc.  
自動車部品業界向けの  
基板実装関連設備



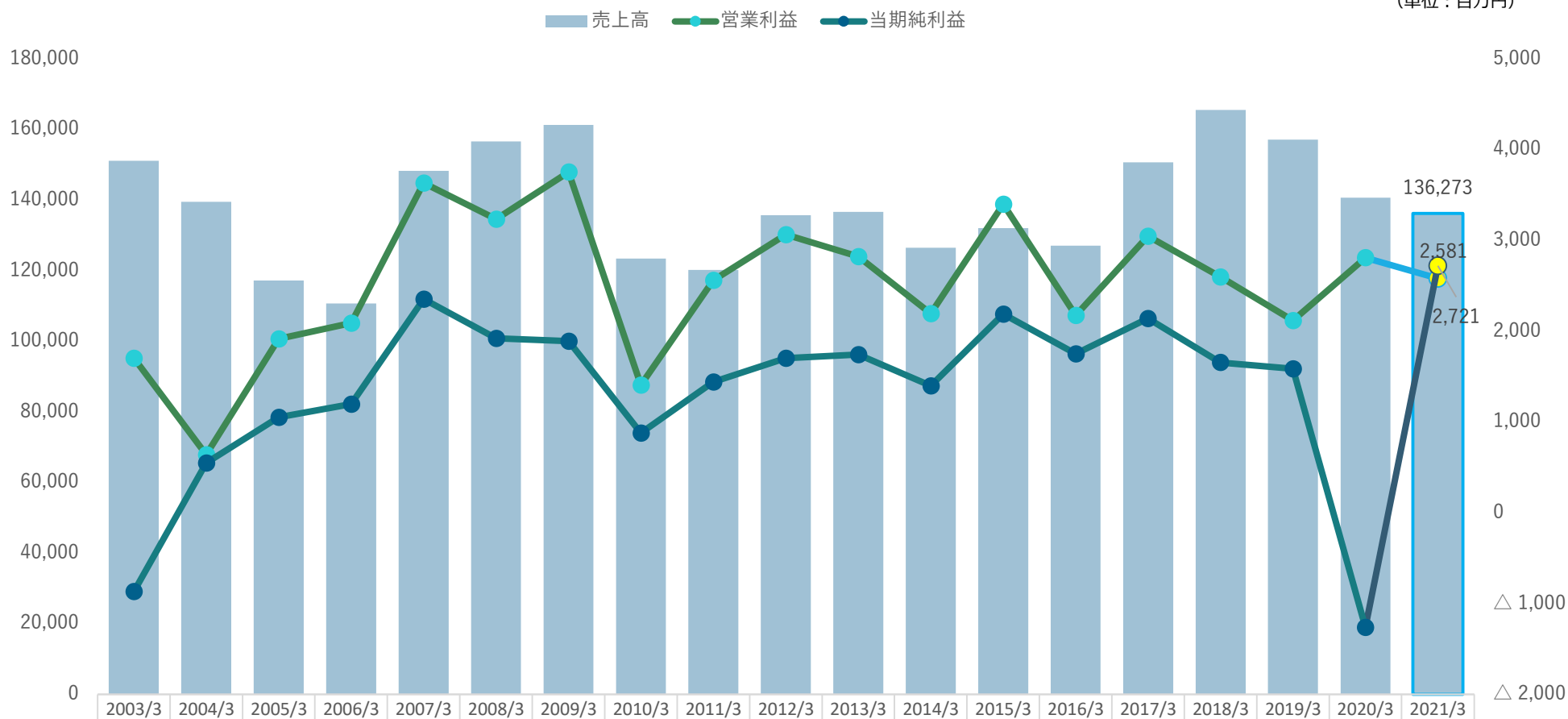
Seika Sangyo (Thailand) Co.,Ltd.  
自動車・化学・繊維業界向け産業用機械



## 6. 業績の推移（連結 売上高・営業利益・当期純利益）

### 連結 売上高・営業利益・当期純利益の推移

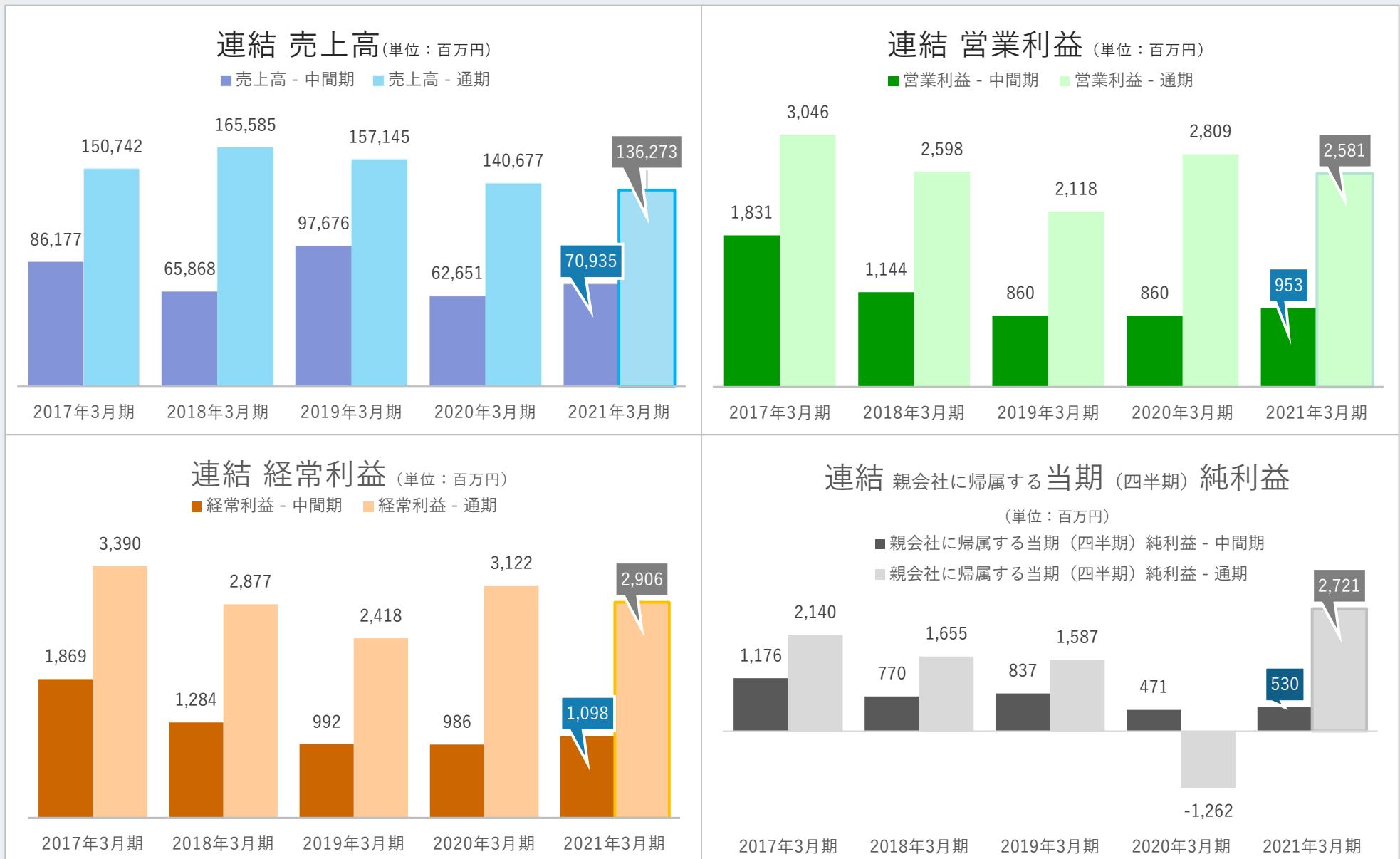
(単位：百万円)



	2003/3	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3
売上高	151,120	139,519	117,197	110,727	148,307	156,588	161,261	123,394	120,243	135,717	136,670	126,487	132,033	127,101	150,742	165,585	157,145	140,677	136,273
営業利益	1,702	641	1,916	2,088	3,634	3,234	3,754	1,406	2,561	3,065	2,824	2,193	3,400	2,174	3,046	2,598	2,118	2,809	2,581
当期純利益	△ 866	548	1,051	1,198	2,353	1,922	1,889	879	1,441	1,702	1,743	1,399	2,188	1,750	2,140	1,655	1,587	△ 1,262	2,721



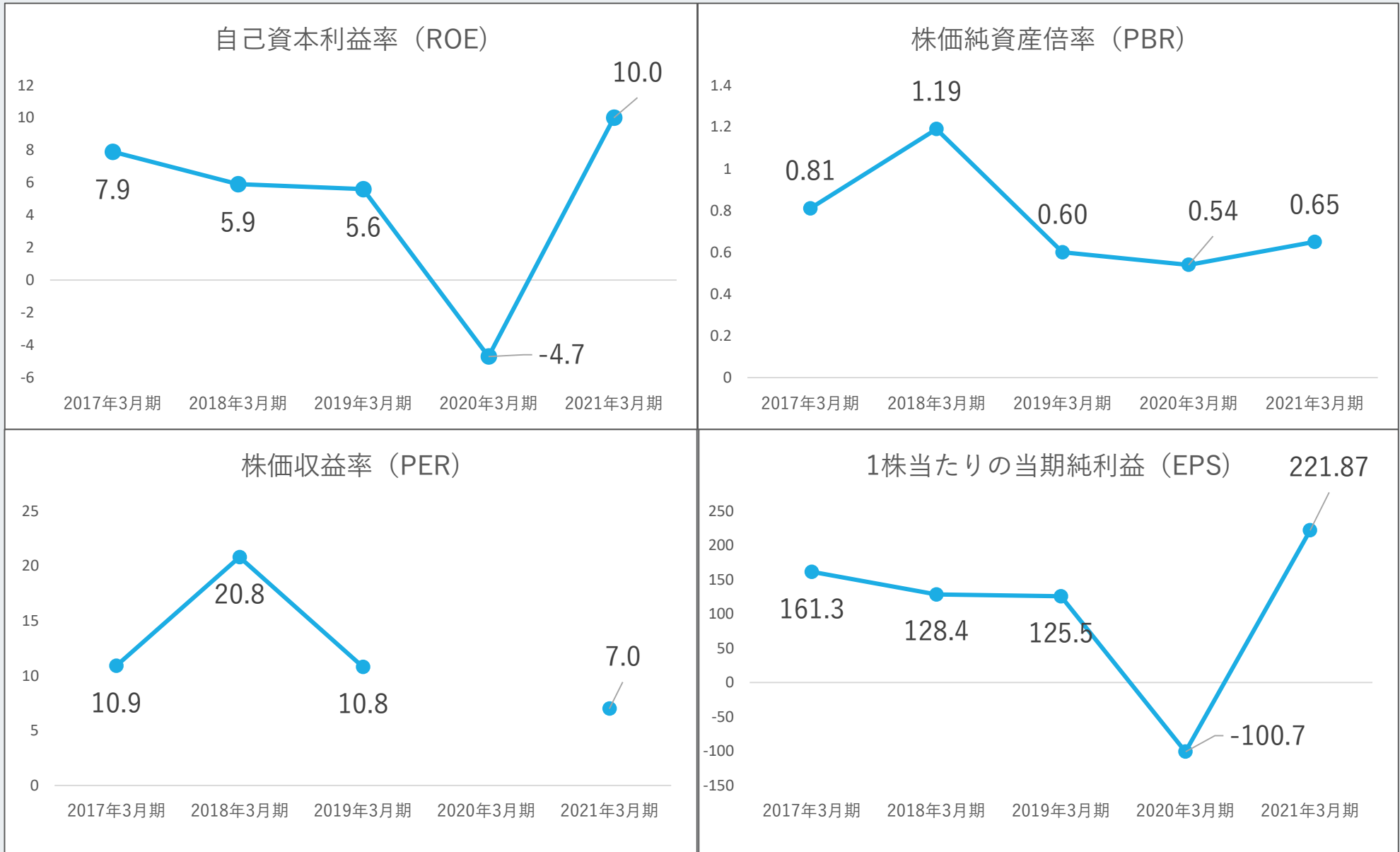
# 7. 決算概要の推移







## 8. 経営指標の推移



注) 2020年3月期の株価収益率 (PER) は、当期純損失であったため記載していません。



# 9. 中期経営計画 Re-SEIKA 2023

変革と挑戦 強く価値ある会社へ

2020年4月~2023年3月

# グループポリシー

当社グループとしての結束力やグループ経営を推進していくため、「西華産業グループポリシー」、「グループ行動規範」、「グループミッション」を定め、当社グループに属する各社および、そこで働く社員一人ひとりがこれらを共有し、日々の行動に繋げ、グループ全体で企業価値の向上を目指していきます。



## グループポリシー Group Policy

私たち西華産業グループは、お互いが連携し、高め合い、公明正大な企業活動を通じて持続可能な社会の発展に貢献します。

Strive for excellence and foster a sustainable society with corporate integrity.

## グループ行動規範 Code of Conduct

一人ひとりが法令を遵守すると共に社会から信頼されるよう倫理観を持って行動します。

Comply with laws and act with ethical standards to gain the trust of society.

## グループミッション Group Mission

グループ全体で豊かな社会を実現します。

Create a fulfilling society together.



# 長期経営ビジョン

[2017年4月~2027年3月]

## 長期経営ビジョン 10年後の 西華産業グループ像

事業環境の変化に適応し、強固な経営基盤を有したグローバルな企業グループとなっている。  
また、グループ社員は開拓精神に燃え、各々の会社で働きがいを感じ、活力に溢れて一人一人が成長を実感している。

### 長期経営方針

01

ビジネスモデルの変革と進化を進め、さらにグループの収益力を向上させる。

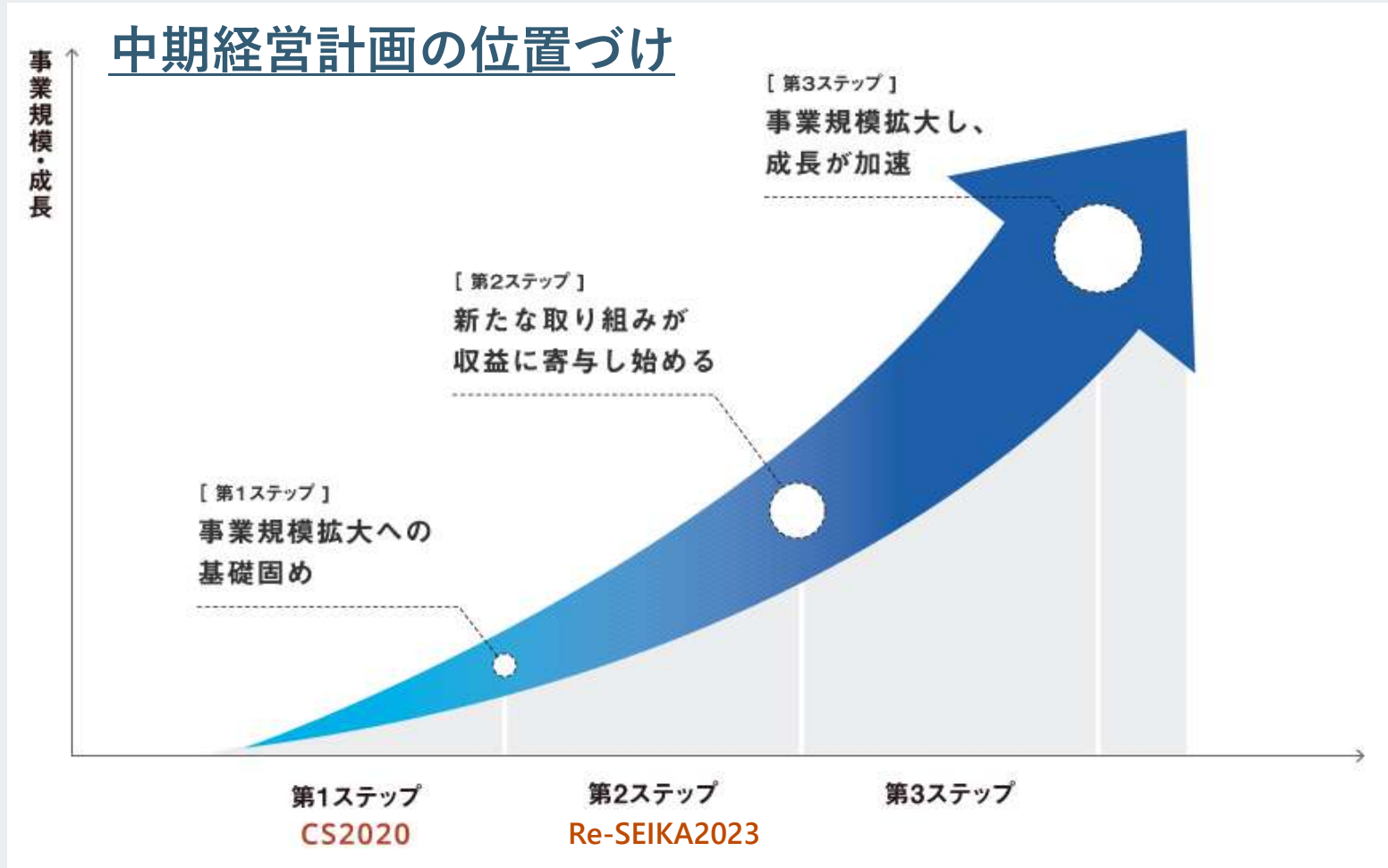
02

時代の変化に対応し、新規事業を創り出せる人材並びに、国内外で活躍できる人材の発掘と育成を行うと共に、経営資源を最適投入する。

03

社員にとって働きがいがあり魅力溢れる職場環境を作り、生産性を向上させる。







## Re-SEIKA 2023 変革と挑戦 強く価値ある会社へ

1

### グループ収益の拡大

西華産業単体の各事業とグループ各社を事業内容毎に「事業ユニット」としてグループ化し、一体化した事業運営を図る。

2

### 収益基盤の強化

各事業を基礎収益分野と成長収益分野とに区分する。事業ポートフォリオの最適化を進め、経営資源の効率的な投入を適宜実施、推進する。

3

### 新たな収益源の開拓

新たな収益源の開拓のため継続的に経営資源を投入する。  
そして、当社グループの持続的な成長基盤構築を促進する。

4

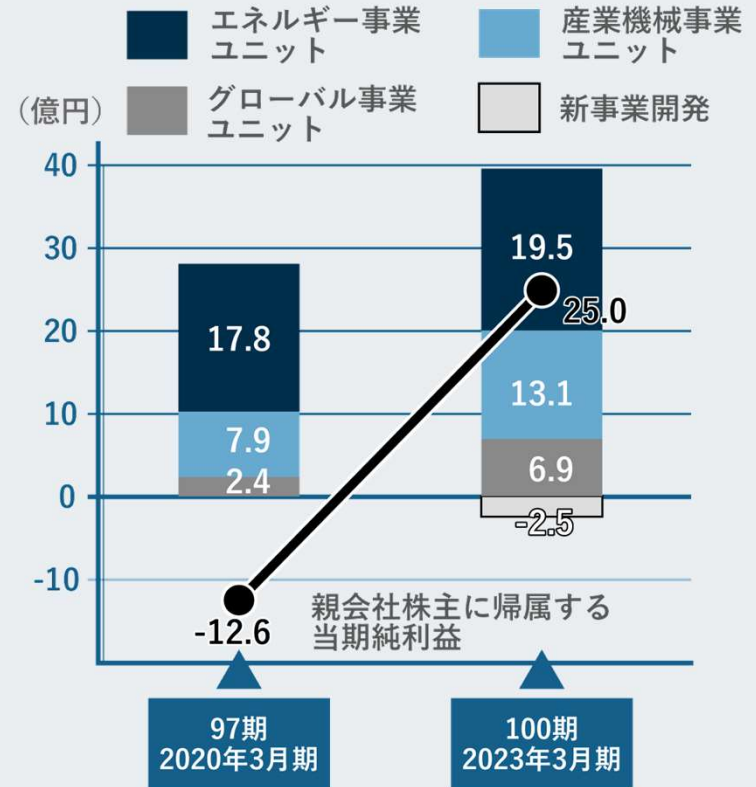
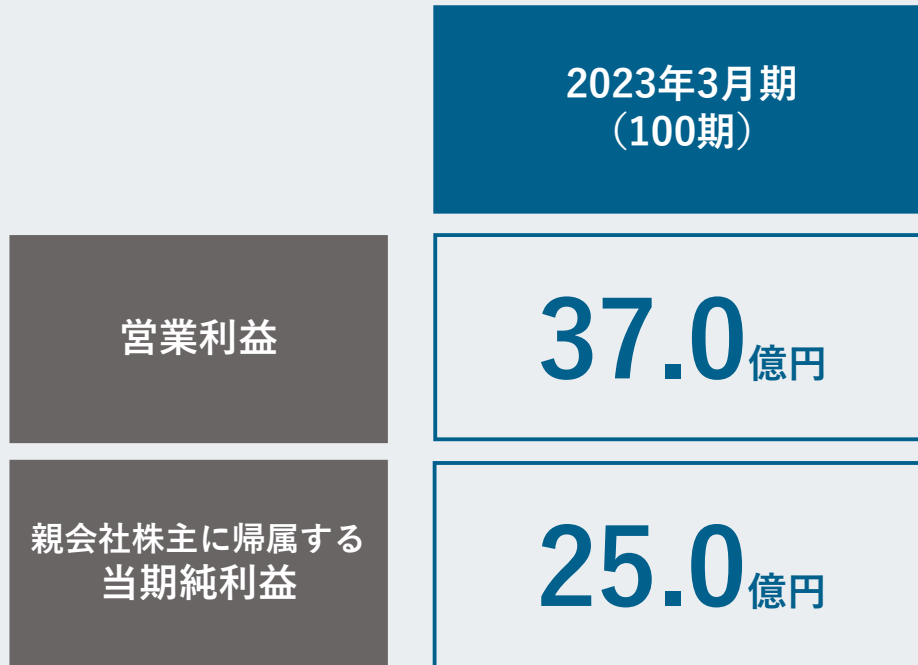
### 経営基盤の強化

財務体質の安定化を図る。IT化・DX推進等による業務の効率化、職場環境の充実、人材育成などにより、組織力を強化する。



# 中期経営計画 Re-SEIKA 2023 数値目標

## 経営数値目標（連結）



(ご参考) 2023年3月期の経営数値目標であります親会社株主に帰属する当期純利益25億円を達成するとROEは8%以上となります。



# 10. ESGの取り組み



## 環境型配慮商品の拡販 **E**nvironment

2021年3月期 環境配慮型商品 受注実績	受注件数	受注高
省エネ・省資源・高効率化	10,800件	803億円
公害防止	985件	71億円
リサイクル・リユース	688件	12億円
合計	12,473件	886億円



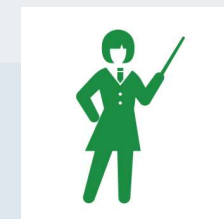
## 社会責任（働き方改革） **S**ocial

女性の活躍推進  
従業員の健康促進

女性総合職採用の強化 女性社員のキャリア形成支援 女性管理職の登用  
プレミアムフライデー制度 有給休暇の取得推進  
インフルエンザ予防接種費用の会社負担

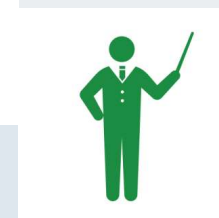
人材育成の取り組み  
コロナ禍の取り組み

各種階層別研修 海外研修派遣制度  
在宅勤務の推奨 社員への持ち出し用PC支給 ペーパーレス化等



## ガバナンス **G**overnance

コーポレートガバナンス・コードに基づいた施策⇒全てのコードを遵守  
取締役会の実効性評価（外部機関）実施  
指名審査委員会、報酬審査委員会設置  
英語での情報提供 招集通知の一部、決算説明会資料、FACT BOOK  
社外取締役（計3名、社外取締役比率：1/3以上）





将来の予測に関する注意事項：

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

### 本資料に関するお問い合わせ先

(機関投資家 対応)

経営企画本部 企画部 Tel : 03-5221-7117

E-mail: [smb002@jp.seika.com](mailto:smb002@jp.seika.com)

(個人株主 対応)

管理本部 総務・人事部 Tel : 03-5221-7101